

# 赤潮・貧酸素情報（５）

平成 29 年 6 月 26 日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター  
豊前海研究所長

6月26日に調査を行った結果、有害プランクトン「シャットネラ・アンティカ」による海面の変色とカレニア・ミキモトイの出現が認められました。

○ シャットネラ・アンティカ, カレニア・ミキモトイ細胞密度

6月26日調査				
番号	採水場所	採水層	カレニア・ミキモトイ (細胞数/海水1ml)	シャットネラ・マリナ・アンティカ (細胞数/海水1ml)
①	柄杓田漁港	表層	14	0
		底層	14	0
②	新門司港 (恒見)	表層	12	0
		底層	1	0
③	松山漁港	表層	1	0
		底層	0	0
④	苅田本港	表層	2	0
		底層	0	0
⑤	苅田南港	表層	0	16
		底層	0	0
⑥	蓑島漁港	表層	1	0
		底層	0	0
⑦	杵尾新港	表層	8	5
		底層	2	0
⑧	稲童漁港	表層	2	3
		底層	3	0
⑨	宇島漁港	表層	0	811
		底層	0	6
⑩	吉富漁港	表層	1	12
		底層	0	2

○ シャットネラは赤潮状態に達しない少ない細胞数（海水 1m | 中に数十細胞）でも、魚類などをへい死させるおそれがあり、日中は表層で確認されますが、夜間は底層に移動します。

○ 漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。

○ 今後も、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますので、着色が認められていない港でも十分注意してください。

○また、有害なカレニア・ミキモトイも引き続き確認されていますので、引き続きご注意下さい。

○なお、貧酸素水塊の発生は認められませんでした。

○研究所では、引き続き調査を実施しますので、今後の赤潮情報に十分ご注意下さい。

今後、漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所(0979-82-2151、担当：恵崎、俵積田)までご連絡下さい。

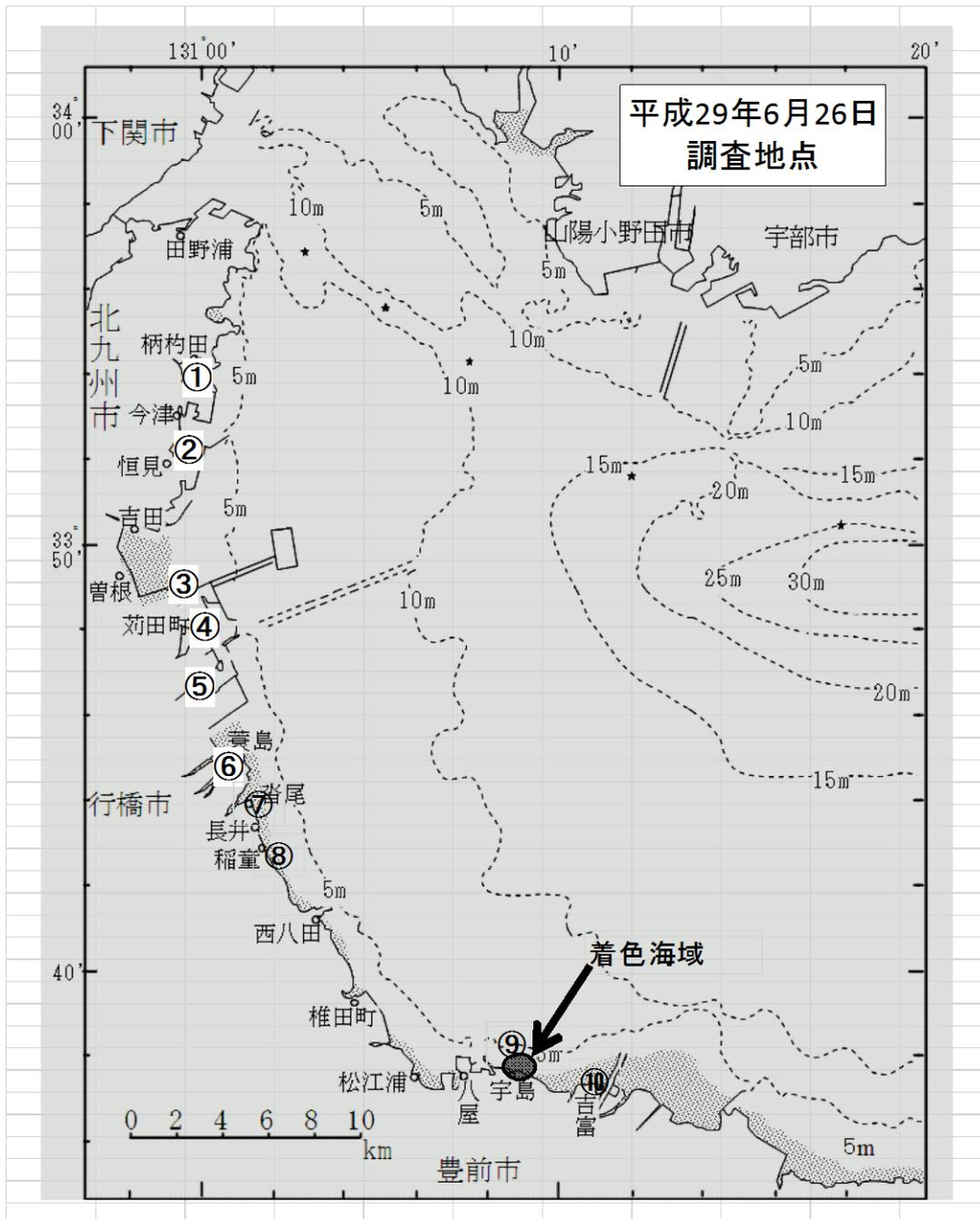


図 赤潮発生海域図